

砂防だより

NO.
131
2000.10.15

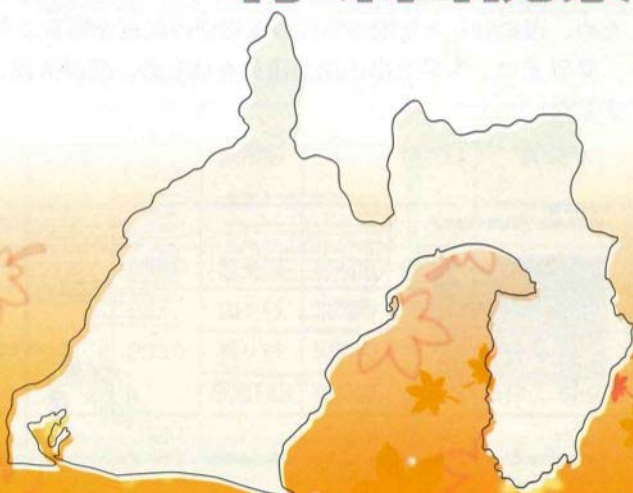


有珠山（北海道）

噴煙を上げている金比羅火口群と周辺被災地
(平成12年8月24日、市町村長等砂防事業県外視察時上空より撮影)

山口土木部長 顧問就任のご挨拶	2
砂防事業の推進を国へ要望	
砂防関係補正予算可決（9月県議会）	3
土砂災害の発生状況と対策	
市町村長等砂防事業県外視察	4
木和田川砂防環境整備事業	8
（砂防学習ゾーンモデル事業の完成）	
わがまちの砂防	10
（下田市・島田市・三島市・佐久間町）	
砂防関係の主な行事	12

有珠山視察



全国治水砂防協会静岡県支部

山口土木部長顧問就任のご挨拶



秋冷の候、会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたび8月1日付けで土木部長を拜命し、全国治水砂防協会静岡県支部顧問に就任した山口修おさむです。よろしくお願いたします。

静岡県は、日本一高い富士山と、日本一深い駿河湾が隣接するなど美しい地形を持つ反面、河川は急勾配で脆弱な地質や火山麓地を抱える等、土砂災害を受けやすい地域と考えます。

過去には狩野川台風や七夕豪雨など、幾度もの大災害にも見舞われ、又、今後発生が予想される東海地震や最近発生している伊豆諸島の三宅島での大規模な火山活動等を踏まえると、土砂災害から県民の生命・身体の安全や財産の保護を確保するためには砂防関係事業の実施による土砂災害防止対策が重要であります。

現在、本県では「災害に強い安全な地域づくり」を重点施策として「快適空間しずおか」の実現に向け、県政を推進しております。

土木部といたしましては、今後も土砂災害防止施設の整備を着実に進めるとともに、国や市町村等と連携し、ハザードマップの配布等により土砂災害情報を行政と住民が相互に通報し合うシステム等の構築、及び、平成13年4月1日に施行される「土砂災害防止法」の活用など、総合的な対策を講じ土砂災害の未然防止を図ってまいりますので、会員の皆様をはじめ、関係各位には引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、伝統ある砂防協会の益々の発展を祈念いたしまして、就任の挨拶といたします。

全国治水砂防協会静岡県支部 顧問 静岡県土木部長 山口 修

平成13年度 砂防事業の推進を国へ要望

本支部では、平成12年8月9日、直轄砂防事業・補助砂防関係事業・総合的な土砂管理の一層の推進を図るため、国に対し来年度予算につき格別の配慮を賜るよう要望書を提出いたしました。

要望先は、本県選出の国会議員をはじめ、建設大臣、政務次官、建設省の関係幹部職員など32名にのほりました。

県の9月補正予算可決

県の平成12年度9月補正予算が9月定例会において可決されました。

一般会計の補正規模は222億円で、これは昨年の9月補正380億円に比べ150億円余り少ない額です。

砂防関係予算は18億9,900万円の増額補正があり、9月現計で162億7,700万円余となりました。

補正の内訳は国庫補助事業で14億8,800万円（公共事業等予備費の追加配分等）、県単独事業で2億3,500万円（生活環境整備事業）、国直轄事業費負担金で1億7,600万円です。

(単位：千円)

区 分	⑫当初予算	9月補正額	A 合 計	B⑪最終予算	A/B
行 政 費	4,235	0	4,235	4,336	97.7%
国 庫 補 助 事 業	10,479,000	1,488,000	11,967,000	13,371,791	89.5%
県 単 独 事 業	2,303,000	235,000	2,538,000	3,083,284	82.3%
国直轄事業費負担金	1,592,000	176,000	1,768,000	2,418,231	73.1%
合 計	14,378,235	1,899,000	16,277,235	18,877,642	86.2%

土砂災害の発生状況と対策

平成12年は6月の集中豪雨や地震、9月の台風の影響による豪雨で、全国でがけ崩れや地すべり等による土砂災害が、9月21日までに454件発生しています。

県内でも、6月末の豪雨等により9件のがけ崩れによる土砂災害が発生し、9月末までに15件発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。

このうち、多大な被害が発生した4件に対しては、建設省に災害関連緊急事業を申請し、約12億円の事業採択を受け、現在、対策を実施中です。



山ヶ谷急傾斜地（浜岡町）6月28日の梅雨前線豪雨による斜面の崩壊

1 土砂災害の発生件数

原 因	H8	H9	H10	H11	H12
土石流	1	2	9	0	3
地すべり	4	4	7	2	1
がけ崩れ	3	12	125	10	11
計	8	18	141	12	15

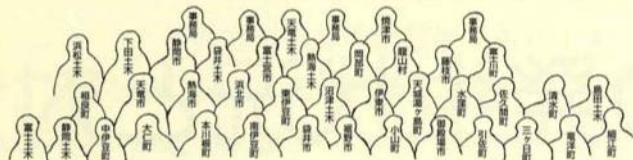
※平成12年9月末現在

2 平成12年度 災害関連緊急事業 実施状況

区 分	箇所数	採択額 (百万円)	箇所名	市町村名	採択日	事業内容
砂 防	—	—	—	—	—	—
地すべり	1	996.0	諸子沢	静岡市	H12.9.29	水抜工、アンカー工
がけ崩れ	3	209.0	山ヶ谷	浜岡町	H12.7.26	擁壁工
			桐ヶ谷	岡部町	H12.7.26	法枠工
			石打松下夏沢	春野町	H12.10.2	法枠工、擁壁工
計	4	1,205.0	—	—	—	—

※平成12年10月2日現在

砂防事業県外視察



全国治水砂防協会静岡県支部の主要行事の一つである市町村長等砂防事業県外視察も24回を数え、回を重ねるたびに充実した研修となっております。

本年度は8月23日～25日の日程で、関係市町長など42名の参加により、23年ぶりに噴火した北海道の「有珠山周辺の被災状況と火山砂防事業の実施状況」と小樽市の「市街地再開発事業」を視察いたしました。

〈日程表〉

- 23日(水) 小樽市まちづくり視察
- 24日(木) 洞爺村、壮瞥町
有珠山火山砂防事業視察
- 25日(金) 千歳サケのふるさと館視察

小樽市まちづくり視察



平磯公園



上空から見た小樽港マリーナとばるて築港周辺

初日の8月23日は「小樽築港駅周辺地区再開発計画」を視察し、小樽市土木部の山田次長より、計画の概要や経緯、事業実施中の問題点等詳細な説明をしていただきました。

築港駅周辺地区は、かつては石炭や木材などの集散地として、市内では最も賑わいを見せた場所で、現在は市民公募により「ばるて築港」と名付けられた新しい都市空間の創出によって多くの人々が訪れております。

視察は、計画地の全景を見渡せる平磯公園より始まり、北海道にしては蒸し暑い天候の中、汗を吹き拭き参加者全員徒歩により、大規模なウォーターフロント開発により誕生したアミューズメント施設、デパート、ホテルなどが一体となった「マイカル小樽」や小樽マリーナ、小樽築港駅のマリーナロード（人工地盤）を視察しました。

各施設の説明時には、都市計画事業等の諸問題に対する小樽市の対応について、細部にわたり質疑等がなされ、予定時間を大幅に超過する熱心な視察となりました。

有珠山火山砂防事業視察

視察2日目の8月24日は、「有珠山火山砂防事業」を視察するためバスで移動し、有珠山から約8km離れた対岸のサイロ展望台より、有珠山の全景と昭和新山や噴煙に煙る洞爺湖温泉街を遠望しました。

参加者のうち、豊田袋井市長ほか9名は遊覧ヘリコプターに搭乗し、空から火山噴火活動や被災地の状況を視察しました。

午後からは壮瞥町役場を訪れ、砂防協会静岡県支部より壮瞥町へお見舞い金を贈りました。

その後、谷岡助役より有珠山の活動や住民の警戒避難体制の整備状況について説明を受け、災害時における警戒避難対策や各種の問題等について熱心な意見交換が行われ、山中町長より貴重な経験をもとに、今後の防災対策や危機管理における大変参考になるご意見を頂きました。



副支部長より壮瞥町長へお見舞い金を贈る



山中町長よりの提言「被災地の首長は避難所に向いて、直接住民へ状況を説明することが大事である。」

有珠火山 防災マップ

VOLCANIC HAZARD INFORMATION
SHIKOTSU TOYA NATIONAL PARK



避難時の注意事項

● 火山活動が必要な場合サイレンの発音、広報車等による呼びかけがあります。
● 火山活動は噴煙の状況に留意し、被害について避難してください。
● 避難時、待機の間は静かに待機してください。また、二次災害（火災、土砂崩れ）の発生に備え、身の安全確保を最優先と行ってください。
● 避難に必要なたすきや道具はあらかじめ持ち込んでください。
● 必ず事前案内に定められた避難経路を利用してください。

For Your Safety, obey the following notice:

- When evacuation is necessary to prevent volcanic disaster, there will be alarm by siren.
- Do not be Panic!! Please follow the instructions by hotel staffs.
- In case of evacuation, please take care of your family or friends.
- Follow the evacuation route shown on the map.



壮瞥町・壮瞥町観光協会
Shiroshima Town Office and Shiroshima Tourist Association

参加者の声

富士宮市 都市整備部長 佐藤 寛

去る8月23日より25日にかけて「平成12年度市町村長等砂防事業視察」へ参加させていただきました。

視察の行程中は天候にも恵まれ、バスの窓よりの風景は富士山西麓とは一味異なった飽きさせない景観を醸し出し、被災地を見るまではなんとなく浮ついた気分でした。しかし、予定された現地を順次視察するに従いどこからとなく驚きの声があり、圧巻だったのは「とうやこ幼稚園」の噴石による被害と、その付近の地殻変動による地盤変化であり、特に道路の隆起（沈下か…？）を見るに至り驚愕の声に変わったものでした。

このような状況で一人の犠牲者もなかったことは二重の驚きでもあり関係者の努力に頭が下がりました。

今回の視察を一言で表現すると「来た、見た、^{たまげ}魂消た！」に尽き、同時に「もしも富士山が…」と思うと何と何と良いのやら「????」これは皆様の想像にお任せします。

砂防事業県外視察



西山川 無人化機械施工の実地状況



とうやこ幼稚園



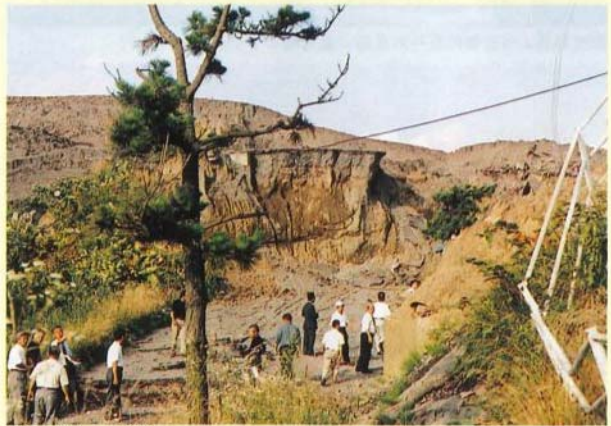
教室の状況

現地では北海道庁の山田主査より噴火口に近い西山川と板谷川の泥流対策工事で行われている遠隔操作の無人化機械施工について説明がありました。また、「とうやこ幼稚園」では、最大径約1mの噴石により崩壊した建物、地盤変状により落差2mの傾斜が発生している運動場等の状況とその周辺部では、今なお噴煙が上がり、隣接する国道の路面に高さ約6mの段差が幾重にも生じた被害状況から火山噴火災害の恐ろしさを痛感しました。

今回の視察では、火山噴火ハザードマップが有効に活用され、事前の警戒避難が上手く進められ一人の犠牲者もでなかった成功例を見学して貴重な体験を得ました。

また、参加者から、被災地の悲惨さを目の当たりに見て、火山災害の恐ろしさを肌で感じることができ、大変有意義な視察であったとの声をいただきました。

最後に、現在も避難生活を続けている地域住民へお見舞いを申し上げるとともに、お忙しい中を参加していただきました会員の皆様、ご案内いただいた小樽市、壮瞥町、北海道庁砂防災害課の方々に誌上をお借りして心からお礼申し上げます。



町道に発生した段差

参加者の声

岡部町 建設課長 柴田 愷男

有珠山の大噴火による噴石や泥流の爪痕を目の当たりにし、自然の持つ巨大エネルギーに立ち向かわなければならない人間の宿命を感じずにはいられません。「行政はどうあるべきか、どうしたら住民の信頼を得られるのか。」本県は、東海地震がくると言われて数十年が経ち、例年行なわれている訓練も地震土砂災害に対する危機管理が希薄しているように思えました。いまだ噴煙を上げる有珠山と静かな洞爺湖を複雑な気持ちで後にしました。

龍山村 建設課長 野田 和秀

去る3月31日に23年ぶりに噴出した北海道の有珠山を視察致しました。轟音とともに吹き上げる噴煙、一面灰色の世界は想像を絶するものでした。虻田町の西山川では溜まった泥流の除去作業が懸命に行われていました。また、壮瞥町長に住民避難についてのお話を聞くことが出来ました。一人の死者も出さずに避難出来た理由には、「噴火前より火山性地震が頻発していたため事前準備が出来た、有珠山防災マップにそってスムーズな避難が出来た、同報無線、広報車さらに文書による避難の呼び掛けを行なった。」ということでした。

今回の視察で得た貴重な教訓を地域行政に大いに役立てて参りたいと思います。

建設委員会が半済地すべり(菊川町)を視察



地すべり施設を見学する委員



説明を受ける委員

平成12年7月26日に県議会・建設委員会が菊川町の「半済地すべり」を視察されました。これは、建設委員会が議会活動の参考とするため毎年開催しているもので、今年は7月26・27の両日で、「半済地すべり」の対策状況や小笠山運動公園等の現場を実際に歩いて視察されたものです。

当日は込山委員長をはじめ11名の委員全員が参加され、袋井土木事務所長が被災当時の住民避難や対策工事等の説明をし、災害に緊急に対応した地すべり対策に理解をいただきました。

愛知県治水砂防協会が久井戸川(相良町)を視察

平成12年6月21日、相良町の久井戸川を愛知県の市町村担当者43名が現地視察されました。久井戸川は県天然記念物の相良油田に隣接しており、町の「油田の里公園」整備計画にあわせ、自然との共生に配慮した砂防施設が地域開発関連砂防事業により整備されています。



砂防ニュース(4月~9月)

4月	10日~14日	会計検査(地方特定砂防環境整備事業)	県内
	26日	全国治水砂防協会静岡県支部 会計監査	静岡市
5月	11日	平成12年度実施認可	東京都
	15日	会計検査(防衛障害防止事業)	御殿場市
	17日	全国治水砂防協会通常総会	東京都
	24日	全国治水砂防協会静岡県支部総会	静岡市
6月	1日~30日	土砂災害防止月間/急傾斜地パトロール	県内
	1日~7日	かけ崩れ防災週間	県内
	18日	砂防フェスティバル2000しずおか	静岡市
	21日	愛知県治水砂防協会県内視察	相良町
7月	19日	「土砂災害防止に関する」説明会	島田市
	24日	砂防溪流環境委員会(第2回)	静岡市
	24日	「土砂災害防止に関する」説明会	松崎町

7月	26日	建設委員会 半済地すべり視察	菊川町	
	8月	7日	「土砂災害防止に関する」説明会	菰山町
8月	9日	平成13年度国への要望(砂防協会)	東京	
	18日	口坂本砂防見学会	静岡市	
	21日	木和田川砂防学習ゾーンモデル事業完成式典	岡部町	
	23日~25日	市町村長等砂防事業視察(砂防協会)	北海道	
	28日~31日	日本地すべり学会 研究発表会・現地見学会	神戸市	
	30日	火山講演会	富士宮市	
	31日	富士山大沢扇状地土砂処理協議会	富士宮市	
	31日	「土砂災害防止に関する」説明会	岡部町	
	9月	1日	県総合防災訓練	県内
		11日~12日	口坂本地すべり対策検討委員会幹事会	静岡市
30日~1日		富士山ぐるっと360度	富士山	

木和田川

砂防環境整備事業

●砂防学習ゾーンモデル事業の完成式と 木和田川堰堤めぐり

平成12年8月21日に、志太郡岡部町の「葛の細道公園」に沿って流れる木和田川で「木和田川砂防環境整備事業」砂防学習ゾーンモデル事業の完成式が岡部町の主催で、地元関係者の多数の参加により盛大に行なわれました。

式典では、記念碑の除幕や記念の植樹を行うとともに長い間、砂防施設の周辺の草取や清掃を行ってきた「横添ふるさと会」へ、本協会静岡県支部より表彰状を授与しました。

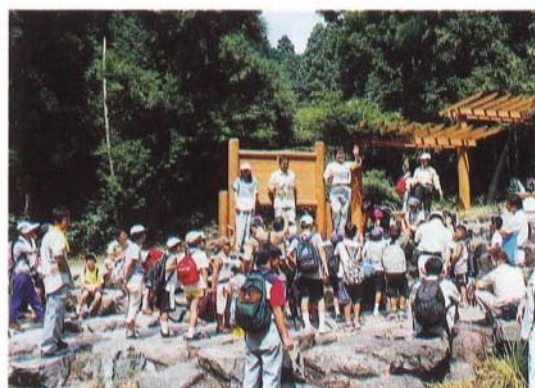
なお、当日は県民の日のイベントとして「木和田川堰堤めぐり」が行われ、あいにくの雨にもかかわらず小学生ら40名を越す参加者が集まり、木和田川に沿ってオリエンテーリングを楽しみながら8基ある兜堰堤を散策しました。



途中のチェックポイントでは堰堤の石の重さ当てクイズ等を行い、遊びながら砂防施設について学びました。

参加者は今でも機能している歴史的な堰堤に直接ふれ、身近にこのような施設があることに驚いていました。

■木和田川散策MAP



堰堤めぐり

I N F O R M A T I O N

口坂本砂防ダム見学会

平成12年8月18日、平成10年に土石流災害があった静岡市口坂本の砂防現場見学会を県民の日イベントとして開催しました。

当日の参加者は35名で夏休み期間中のため小学生の家族連れが大半でした。現地では砂防ダムを間近に写真パネル等を用いた説明に熱心に聞き入っていました。見学会後のアンケートには砂防事業に関心を持っていただいたことが表われていました。



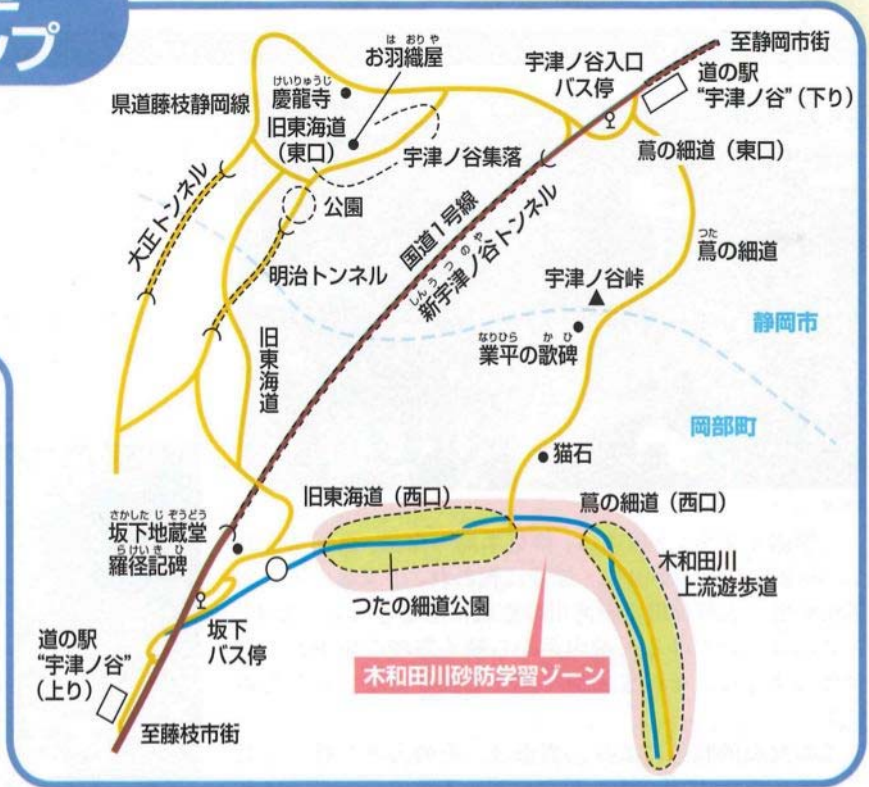
(坂本川 4号ダム)

木和田川周辺 散策ガイドマップ

【交通案内】

- 東名静岡インターから車で20分
(国道1号線經由 宇津ノ谷トンネル後)
- 東名焼津インターから車で15分
(国道1号線經由 宇津ノ谷トンネル前)
- 藤枝駅からバスで約40分「坂下」下車
徒歩15分

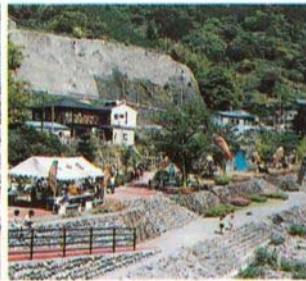
本県の代表的な砂防環境 整備事業の紹介



都田川〈引佐町〉



童子沢親水公園〈金谷町〉



由比川・入山親水公園〈由比町〉



桃沢川〈長泉町〉

I N F O R M A T I O N

富士山大沢川扇状地土砂処理協議会

平成12年8月31日、建設省富士砂防工事事務所で大沢川扇状地土砂処理協議会が開催されました。この協議会は建設省、県土木部、富士宮市、富士市、芝川町で構成され、大沢川の砂防工事において発生する土砂の円滑かつ有意義な処理の実施、並びに砂防指定地の適正な管理について協議しています。

現在、扇状地で除石した土砂のほとんどは侵食の進む富士海岸等の養浜材、道路や公共施設の盛土材等として有効に活用されています。



下田市の砂防

下田市

下田市 建設課長 塩澤 一光



黒船祭パレード

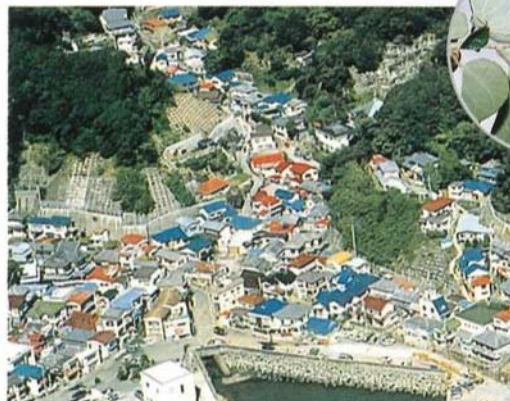
「開国のまち」下田市は、伊豆半島の南部、東側に位置し、市全体の83%が山林・原野に覆われ、平坦地の大半は稲生沢川・大賀茂川の両河川の流域に形成されています。

これは、いわゆる天城山系から続く急峻な山々が市内全体に連なり、そのまま海岸部まで張り出しているためです。

この地形的特色により、当市は、その大きな魅力である総延長47kmに及ぶ美しい海岸線を有する一方で、ほとんどの河川が急勾配で土砂災害を受けやすいという面も

有しています。昭和51年の「七夕豪雨」、平成3年の伊豆南部の局地的豪雨等、過去に幾たびも甚大な被害を被り、その都度、災害関連緊急砂防事業等により復旧に努めて参りました。

今後も、市民の皆様が「安心して生活できる」、そして観光客の皆様が「安心して訪問できる」まちづくりを進めるため、土砂災害の防止に努めて参ります。関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



須崎 急傾斜地 (下田市須崎)



下田市指定
天然記念物
はまぼう

島田市

島田市 建設課長 福井 勇三

島田市は、大井川越しの宿場町として栄えた歴史を持っています。江戸時代、大きな河川には橋を架けなかった川越制度がもたらしたのですが、大井川は「箱根八里は馬でも越すが越すに越されぬ大井川」と謡われ、旅人にとって東海道最大の難所でありました。

当市の地形ですが、市域の北部は大半が急峻な山地で占められており、斜面が多く土砂災害が予想される箇所が多く存在します。過去における大災害の記録としては、昭和35年の台風12号による災害があります。北部の伊久美地区では、山の崩壊や道路の寸断、橋梁の流失、家屋の崩壊等に見舞われ16名の尊い命が失われるという大災害を経験いたしました。幸いなことに、近年は大きな災害もなく推移



世界一長い木橋「蓬莱橋(ほうらいばし)」



「ばらのまちづくり」
シンボルマーク



大井川水系高越沢砂防ダム (島田市 赤松)

しておりますが、このような自然災害の恐ろしさを経験している当市では、災害の発生には、普段から十分注意する必要があると平成8年には土砂災害危険箇所を表示したハザードマップを作成し、市民に防災意識の啓発を図って参りました。

事業につきましても、現在、砂防事業2箇所と急傾斜地崩壊対策事業3箇所を実施しており、安全性に加え環境や景観が重視される時代となってまいりましたので形態も自然に近いものを取り入れております。この砂防関係事業は地域住民の生命財産を保全する事業として大変重要な事業であり、今後も積極的に推進してまいりたいと思っております。



三島市

三島市 土木課長 五味 宏教

三島市は、伊豆の玄関口に位置し、東京から約1時間という地理的条件から、近年、通勤・通学圏となり、人口の増加と共に住宅団地やマンションの建設等が目立つようになりました。

市内を南北に流れる一級河川大場川は、平成2年8月末の集中豪雨によって護岸や橋梁に被害を受けましたが、災害の助成事業として認定され、5年という短い期



大場川まつり



市の花「三島桜」



千枚原 急傾斜地（三島市 千枚原）

間で約4kmの河川改修が完了しました。

整備を終えた現在では、下水道の普及も影響して、かつての美しさを取り戻しつつあり、毎年5月には「大場川まつり」として、ボートレースやフリーマーケットなどが開催され、近隣の方々で大変賑わっております。

また、この大場川に流れ込む支流におきましては、土砂災害の防止のため、砂防ダムを設置や計画がなされており、住民の生命や財産の安全を第一に考えておりますので、関係機関の方々の、より一層のご支援をお願い致します。

佐久間町

佐久間町 土木課長 西沢 博美

佐久間町は、静岡県の北西部に位置する面積168.53km²の山の心がふれあう自然豊かな「歴史と民話の郷」であります。

全町の90%は急峻な山林で、町のほぼ中央部を南下する天竜川本川に中小河川が注ぎ込み、そのわずかな丘陵地に大小38の集落が点在しています。

地質は、中央構造線と赤石裂線が横断するなど複雑かつ脆弱な地質で、過去に幾度となく土砂災害の発生をみしてきました。

このような状況下における当町におきまして砂防事業は、安心して暮らせる地域づくりを進める為、最も重要な施策と考えております。



西渡地すべり（佐久間町西渡）



佐久間ダムまつり



町の鳥「めじろ」

当町における砂防事業は、人命や財産を守る施設だけでなく、環境や景観にも配慮するなど、地域住民や都市部より訪れる観光客にも親しまれる施設整備が行なわれており、地域住民の砂防事業に対する関心が高まっています。

今後も、安全で自然に親しめる町づくりを進めるため、関係各位の尚一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

佐久間町には、自然と親しむことが出来る施設がたくさんあります。ぜひ一度、お出掛け下さい。

火山防災講演会

日時：平成12年11月7日(火) 13:00～16:30

会場：しずぎんホール ユーフォニア (静岡市)

講師：岡田 弘 (北海道大学)

「自然災害の軽減を求めて」
—有珠山や内外の噴火予知から学ぶ—

小山 真人 (静岡大学)

「静岡県周辺の火山防災の現状と問題点」

主催：静岡県 (土木部・総務部防災局)
建設省中部地方建設局富士砂防工事事務所
全国治水砂防協会静岡県支部



※参加希望の方は電話で申し込み下さい。申込先：県庁砂防室 (TEL054-221-3041)

平成12年度 砂防関係の 主な行事

10月24日
暮らしと土木展
[静岡市 青葉イベント広場]

11月 7日
火山防災講演会 [静岡市]

11月 9日～10日
市町村等砂防担当職員研修会
[富山県]

12月 5日
全国治水砂防促進大会
[東京・砂防会館]
静岡県支部砂防関係事業促進要望
(本県選出国会議員等)

富士砂防30周年記念式典シンポジウム

日時：平成12年12月22日(金)
会場：富士市ロゼシアター大ホール
テーマ：富士山直轄砂防事業30周年の成果を踏まえ「富士山は一つ(連携)、緑、内外への情報発信」をキーワードに、富士山の明日について様々な方々からの意見・提言をいただき、今後の事業展開に繋げるための式典・シンポジウム
主催：富士山直轄砂防30周年記念事業実行委員会



参加者募集 安倍川SABOウォーク

静岡河川工事事務所では、11月12日(日)に安倍川上流で行っている砂防事業について住民の方に理解を深めていただくため「安倍川SABOウォーク」を実施します。
(定員は30名、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。)

集合場所：県庁前 (9時～17時予定、雨天中止)
参加費：大人100円、子供50円 (保険代に充当)
申込・問い合わせ先：建設省静岡河川工事事務所内
安倍川SABOウォーク実行委員会
〒420-0068 静岡市田町 3-108
TEL054-273-9104



秋の大谷崩れを歩きませんか

お申し込みは、往復はがきで住所・氏名・年齢
電話番号を明記して11月2日までに上記まで

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しております！
皆さんの御協力お願い申し上げます。
詳しくは下記宛にお問い合わせ下さい。

砂防だより

第131号 発行日：平成12年10月15日
編集・発行：全国治水砂防協会静岡県支部
〒420-8601 静岡市追手町9番6号
静岡県土木部河川砂防総室砂防室内
TEL (054) 221-3042 FAX (054) 221-3564
E-mail: sabo@hq.pref.shizuoka.jp



古紙配合率80%再生紙を使用しています

編・集・後・記

8月24日に、去る3月31日に23年ぶりに噴火した有珠山を視察しました。噴火から5か月が過ぎようとしているにもかかわらず、街全体が火山灰に覆われ、強い硫黄の臭いが漂う洞爺湖温泉街を目の当りにし、自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。本県も、富士山という日本を代表する火山や伊豆の火山群などがあり、決して他人事ではありません。

目前に迫った21世紀、関係者のより一層の土砂災害防止対策は勿論のこと、住民の土砂災害に対する危機意識も重要です。

次号の「砂防だより」の発行は、21世紀が始まる1月1日を予定しております。今後も、よりよい誌面に取り組んでまいりますので、ご愛読いただきますようお願いいたします。